

# 2級建築士 R2設計製図課題の所見

## 【令和2年 設計製図課題】

シェアハウスを併設した高齢者夫婦の住まい（木造2階建て）

要求図書：1階平面図兼配置図、2階平面図、2階床伏図兼1階小屋伏図、立面図、矩計図、面積表、計画の要点等

（注）答案用紙には、1目盛が4.55mmミリメートル（矩計図については10ミリメートル）の方眼が与えられている。

H25以来の「**矩計図**」の出題である。断面図がなくなり、部分詳細図が矩計図での出題となった。

## 【令和2年 課題の所見】

本課題から読み取れることは、「**シェアハウス**」と「**住宅**」である（下記(1)、(2)参照）。

更に、「**木造2階建て**」である（下記(3)参照）。

要求図書の留意点は、H25以来の出題となる**矩計図**である。

H26以降は、矩計図に代わり**断面図**、**部分詳細図**が出題されていた。R2では、これがH25以前に戻り、断面図、部分詳細図が無くなり**矩計図**の出題となった。矩計図は、基礎から屋根まで作図することとなるので、矩計図の一部の作図である部分詳細図よりも作図量が多く、作図時間と作図スペース等から断面図も無くなったものと推定する。

### (1)シェアハウス

シェアハウスは、建築基準法上「**寄宿舎**」に該当し、**共同居住型賃貸住宅**のことである。この共同居住型賃貸住宅とは、親族でない複数の者が、居間・台所・水廻り等の生活空間を同居人（高齢者夫婦＋シェアハウス利用者）と共用し、その他の部分（寝室等）を専用とする形態利用のことである。高齢者夫婦にとっては家賃収入、入居者にとっては安価に住めるというメリットがある。また、個室によるプライバシーを確保しつつ、居住者同士の交流が図れる点（居住者との交流）は、特に高齢者にとって社会との繋がりを図るうえで重要な要因でもある。

### (2)住宅

木造2階建てにおける住宅部分の出題で、**必ず出題される室名**は次の通りである。

玄関、居間、食事室、台所、寝室、便所、洗面脱衣室、浴室

この中で寝室はプライバシーから個室となる。また、高確率で、玄関は、バリアフリーに考慮した高齢者玄関とシェアハウス玄関とに分かれる可能性が高い（2つの外部アプローチ動線）。更に、室内の計画では、高齢者夫婦とシェアハウス利用者とのゾーニング計画（どれを分けて、どれを共用とする）等の計画が重要となる（予測課題で解説）。

### (3)木造2階建て

過去の出題傾向は、以下の通りである。

H24:鉄筋コンクリート造 2階建

H25:木造 2階建

H26:木造 2階建

H27:鉄筋コンクリート造 3階建

H28:木造 2階建

H29:木造 2階建

H30:鉄筋コンクリート造 3階建

R1:木造 2階建

R2:木造 2階建

鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）の課題出題後は、2年連続で木造2階建てが出題されている。

## 【研究会の解説概要】

研究会は、独学者も通学者も活用できる「**80%以上ズバリの中する予測課題**」を提供する。

2級建築士の製図試験は、「**1点予測課題**」であるが、それでも過去の実績では、ほぼ80%以上の中している。その理由は、当研究会が、H24以降の過去問をすべて項目別分析していることと、それ以外の多くの情報（S社・N社等資料）を入手、分析して課題を予測していることにある。

学科合格された方は、多くの方が通学を選択される。しかしながら、その通学費は高額であり、簡単に選択しがたい一面がある。研究会は、H24から過去問を項目別に分析して一覧表にしている。その過去問分析と、R2予測課題1案（図面1案&出題予測した計画の要点等）を熟読いただくと、通学されない方でも合格できる（R1会員HPのみ利用で合格した）。計画の要点等は、研究会資料を丸暗記すると学習時間が短縮できる。通学を選択された方であっても、研究会の過去問分析と予測課題は、一読する価値があるので、年会費2万円も考慮して、採否を検討して見てください（2級合格後、直ぐに1級受験が可能となったので、その学習も可能、1年後からの延長は1万円/年）。